



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 JSP

コード番号 7942 URL <http://www.co-jsp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 耕三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小森 康

TEL 03-6212-6306

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	22,406	1.4	1,359	△14.0	1,316	△12.1	727	△40.5
23年3月期第1四半期	22,086	23.4	1,580	249.6	1,497	213.9	1,222	238.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,777百万円 (20.0%) 23年3月期第1四半期 1,480百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	24.41	—
23年3月期第1四半期	39.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	90,350	47,811	49.7
23年3月期	89,152	46,481	49.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 44,944百万円 23年3月期 43,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,500	1.6	3,150	△17.1	3,200	△15.1	2,150	△23.2	72.11
通期	93,000	1.1	6,300	△16.6	6,400	△18.7	4,100	△16.0	137.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	31,413,473 株	23年3月期	31,413,473 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,597,119 株	23年3月期	1,597,012 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	29,816,382 株	23年3月期1Q	31,051,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州における景気回復基調の鈍化があるものの、アジア諸国や新興国の経済成長もあり、全体的には緩やかな回復基調で推移しました。その一方、我が国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により深刻な影響を受けました。その影響は東日本における物理的被害にとどまらず、全国的なサプライチェーンの分断や原発事故に伴う電力の供給問題、さらには風評被害や消費自粛など様々な面に波及し、日本経済は先行き不透明な状況が続きました。

当社グループにおきましても、震災による一部生産設備等への直接的被害に加え、計画停電等による生産体制への制約などもあり、製品供給力が一時的に低下しましたが、被災設備の早期復旧に鋭意取組むとともに、グループ内での代替生産を有機的に実施することによって安定供給に全力を挙げてまいりました。これらの対応により、当四半期末現在における供給体制は、震災前と同等程度となっております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22,406百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。営業利益は原材料及び燃料価格の上昇によるコスト高等により1,359百万円（同14.0%減）、経常利益は1,316百万円（同12.1%減）、四半期純利益は727百万円（同40.5%減）となりました。

報告セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

(押出事業)

産業用包材の発泡ポリエチレンシート「ミラマット」・発泡ポリプロピレンシート「Pボード」は、主にデジタル家電輸送用に用いられておりますが、震災の影響による家電市場の縮小や流通量の低下を受け、売上が減少しました。食品用包材の発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」は、即席麺や弁当容器として広く用いられておりますが、震災以降の全国的な需要の高まりなどを受け、売上は増加しました。広告用ディスプレイ材や折材の発泡ポリスチレンシート「ミラボード」は、エンドユーザーである小売業等での広告宣伝活動の自粛もあり、売上が減少しました。また、発泡ポリスチレン押出ボードの住宅用断熱材「ミラフォーム」は、復興に向けた需要が主な要因となり、売上は増加しました。トラックの積載品を保護するための緩衝材や家電・自動車用部品の通い函に使用されている発泡ポリエチレン押出ボードの「ミラプラック」は、物流量の低迷などを受け、売上が減少しました。

これらの結果、押出事業の売上高は8,568百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は742百万円（同19.4%増）となりました。

(ビーズ事業)

発泡ポリプロピレン「ピーブロック」は、バンパーコア材・内装材・シートコア材等の自動車部品のほか、IT製品輸送用通い函・家電製品用緩衝材・競技用グラウンド基礎緩衝材等に用いられており、日本及び海外の各地域で製造販売を行っております。日本国内においては、特に自動車生産台数の大幅な落ち込みの影響が大きく、売上が減少しました。一方、アメリカ・ヨーロッパ・アジア各地域では、自動車資材・家電用包装材ともに概ね堅調を維持し、売上が増加しました。また、当連結会計年度よりビーズ事業に移管しました「スーパーブロー」、「スーパーフォーム」の売上は、減少しました。発泡性ポリスチレン「スチロダイア」は、魚箱用途で被災地域の水産業に対する被害などを受け、売上が減少しました。

これらの結果、ビーズ事業の売上高は12,451百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は736百万円（同25.0%減）となりました。

(その他)

一般包材は、国内需要の影響により、売上は減少しました。なお、前連結会計年度まで新事業分野として（その他）に区分しておりましたユニットバス天井材「スーパーブロー」並びに自動車エアコン用ダクトに使用されているハイブリッド成形品「スーパーフォーム」につきましては、当連結会計年度よりビーズ事業として製造・販売を行っております。

これらの結果、その他の売上高は1,386百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業損失は79百万円（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は90,350百万円で、前連結会計年度末に比べ1,198百万円増加しました。このうち流動資産は795百万円増加し、固定資産は403百万円増加しました。

負債は42,538百万円で、前連結会計年度末に比べ131百万円減少しました。このうち流動負債は253百万円増加し、固定負債は385百万円減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の純資産は47,811百万円、自己資本比率は49.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は9,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,368百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、収入要因である税金等調整前四半期純利益1,122百万円、減価償却費1,097百万円、仕入債務の増加573百万円に対し、たな卸資産の増加1,272百万円、法人税等の支払額820百万円などで差引き1,080百万円の収入（前年同四半期比533百万円増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出1,006百万円、定期預金の純増による支出566百万円などで1,203百万円の支出（同470百万円増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出1,313百万円、配当金の支払による支出447百万円などにより、差引き1,406百万円の支出（同192百万円減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については頭書記載のとおりであり、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回開示から変更はありません。

なお、業績予想値は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,474	12,839
受取手形及び売掛金	26,709	26,859
有価証券	0	0
商品及び製品	4,862	5,716
仕掛品	598	660
原材料及び貯蔵品	2,868	3,317
その他	2,792	2,725
貸倒引当金	△214	△232
流動資産合計	51,091	51,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,489	11,672
機械装置及び運搬具（純額）	9,265	9,412
土地	11,995	12,053
その他（純額）	1,443	1,387
有形固定資産合計	34,194	34,526
無形固定資産		
	986	1,063
投資その他の資産		
投資有価証券	1,673	1,695
その他	1,246	1,220
貸倒引当金	△40	△42
投資その他の資産合計	2,880	2,873
固定資産合計	38,060	38,463
資産合計	89,152	90,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,210	10,897
短期借入金	9,200	9,217
1年内返済予定の長期借入金	4,533	4,331
未払法人税等	967	428
賞与引当金	1,326	648
その他の引当金	340	317
その他	5,330	6,319
流動負債合計	31,908	32,162
固定負債		
長期借入金	9,307	8,728
引当金	651	697
負ののれん	241	211
その他	561	739
固定負債合計	10,761	10,376
負債合計	42,670	42,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,128	10,128
資本剰余金	13,405	13,405
利益剰余金	28,475	28,756
自己株式	△1,371	△1,371
株主資本合計	50,638	50,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	17
為替換算調整勘定	△6,805	△5,991
その他の包括利益累計額合計	△6,794	△5,973
少数株主持分	2,638	2,866
純資産合計	46,481	47,811
負債純資産合計	89,152	90,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	22,086	22,406
売上原価	15,633	16,075
売上総利益	6,453	6,330
販売費及び一般管理費	4,872	4,971
営業利益	1,580	1,359
営業外収益		
受取利息	38	44
負ののれん償却額	30	30
持分法による投資利益	—	9
その他	63	74
営業外収益合計	131	158
営業外費用		
支払利息	64	60
為替差損	95	48
持分法による投資損失	30	—
その他	23	92
営業外費用合計	214	201
経常利益	1,497	1,316
特別利益		
固定資産売却益	0	7
投資有価証券売却益	257	—
その他	94	—
特別利益合計	353	7
特別損失		
固定資産除却損	42	10
災害による損失	—	178
その他	0	13
特別損失合計	43	202
税金等調整前四半期純利益	1,807	1,122
法人税等	502	308
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305	813
少数株主利益	83	85
四半期純利益	1,222	727

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305	813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	6
為替換算調整勘定	296	957
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	175	963
四半期包括利益	1,480	1,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,289	1,548
少数株主に係る四半期包括利益	191	228

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,807	1,122
減価償却費	1,119	1,097
負ののれん償却額	△30	△30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27	15
固定資産除売却損益 (△は益)	42	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△257	0
受取利息及び受取配当金	△45	△50
支払利息	64	60
為替差損益 (△は益)	△74	△41
持分法による投資損益 (△は益)	30	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,171	98
仕入債務の増減額 (△は減少)	422	573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63	△1,272
その他	229	280
小計	2,045	1,847
利息及び配当金の受取額	54	113
利息の支払額	△66	△60
法人税等の支払額	△1,487	△820
営業活動によるキャッシュ・フロー	546	1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△753	△1,006
固定資産の売却による収入	5	82
固定資産の除却による支出	△1	△8
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	380	0
定期預金の純増減額 (△は増加)	△165	△566
関係会社株式の取得による支出	△300	—
その他	103	298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732	△1,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	334	△12
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△1,267	△1,313
社債の償還による支出	△162	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△372	△447
少数株主への配当金の支払額	△122	△123
その他	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,599	△1,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,788	△1,368
現金及び現金同等物の期首残高	9,069	10,487
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,280	9,119

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	押出事業	ビーズ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,356	12,226	20,582	1,503	22,086	—	22,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	115	331	4	336	△336	—
計	8,571	12,342	20,914	1,508	22,422	△336	22,086
セグメント利益	622	982	1,604	0	1,604	△23	1,580

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般包材の販売にかかる事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△23百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△24百万円とセグメント間取引消去0百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 平成23年4月1日付の会社組織の変更に伴い、従来「その他」に区分していた製品の一部について「ビーズ事業」へ報告セグメントの変更を行っております。そのため、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントに組み替えております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	押出事業	ビーズ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,568	12,451	21,019	1,386	22,406	—	22,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	183	96	280	13	294	△294	—
計	8,751	12,548	21,300	1,400	22,700	△294	22,406
セグメント利益 又は損失(△)	742	736	1,479	△79	1,399	△40	1,359

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般包材の販売にかかる事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△40百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△40百万円とセグメント間取引消去0百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。